

2008年11月12日

日興グローイング・ベンチャーファンド

エンジェルジャパン・アセットマネジメント

宇佐美 博高から皆様へのメッセージ

混沌の中にも生まれ続ける新たな成長の芽

10月の国内株式市場は、史上稀に見る乱高下を繰り返しました。日中の値動きを見ても、午前と午後では全く異なる展開となる日も多く、依然として、金融市場が混乱から抜け出せていないことがうかがえました。今回の金融危機が世界的なものである以上、欧米を中心に世界各国が協調することが不可欠であろうと考えます。米国では、11月4日の大統領選で選出されたオバマ次期大統領が景気対策を最優先課題の一つとして取り組むことになりましょう。また、15日には新興諸国を含めた主要20カ国による緊急首脳会議がワシントンで開催され、さらに踏み込んだ金融危機への対応策を協議する予定です。そして、こうした中で、相対的に金融危機の影響が軽いといわれる日本に対する期待は高まるのではないのでしょうか。

さて、3月決算企業の間決算発表が本格化してきました。報道によると、10月31日までに2009年3月期の間決算を発表した541社（金融と新興3市場上場会社を除く）の連結経常利益は、前年同期比21%減益となったようです。急激な円高の影響もありましょうが、世界的な金融危機が実体経済に波及してきたことを示しているといえましょう。しかし一方では、目立たないながらも、会社計画を上方修正するなど、景気減速局面においても、新たな付加価値を生み出しながら力強く成長を続ける企業も存在しています。

例えば、家庭用ゲームソフトの不具合検証（デバッグ）代行サービスを手掛ける「デジタルハーツ」は、高度なノウハウ・経験の蓄積による精度の高い不具合検出サービスによって、景気減速の影響を受けることなく業績を伸ばしています。むしろ同社は、ゲームソフト会社が経費削減や合理化を進めるために、デバッグ作業を外部に委託したい、という需要をいち早く取り込んでいることから、景気減速局面も追い風となっているともいえましょう。さらに、ゲーム以外に事業領域を拡大させていることも奏功し、今2009年3月期は、7月28日の中間期業績見通しの上方修正に続いて、10月28日にも中間期ならびに通期の業績見通しの上方修正を発表しています。

また、インターネットを通じて、介護・医療分野に特化した人材紹介などを展開する「エスエムエス」も、今2009年3月期の第1四半期決算が発表される前の7月16日に、早々と通期業績の会社計画を上方修正するなど、好調な業績拡大を続けています。同社は、介護や医療という、ますます需要拡大が想定される一方で、求職者や事業者が必要とする情報に格差がある分野に、

1/4

■当資料は、日興アセットマネジメントが「日興グローイング・ベンチャーファンド」の投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

いち早く特化し、従事者や事業者を囲い込むなど、先行者メリットを活かしながら一層のサービス充実を図っています。具体的には、介護従事者に対し、就職活動から、転職やキャリアアップのための資格取得、情報交換の場など、介護に従事する人の状況・段階に応じて求められる情報を適切に提供することで、幅広い人材を囲い込むことに成功しています。また、求人側である介護や医療事業者に対しても、各種情報提供を通じて、中小企業が多い当業界の業務効率改善にも取り組むことで、事業拡大ペースを加速しています。

このように、実体経済が全般的に減速している現在も、強さを示しながら活躍し続ける革新高成長企業は少なくありません。加えて、これまでの景気減速局面を振り返りますと、多くの企業が足元の事業を見直し、合理化を進める過程や、消費行動に変化が現れる環境下で、これまではなかった新たなサービスや商品、販売手法が生まれる傾向にあるようです。こうした中、当ファンドでは、経営者の方々の個別直接面談調査を徹底し、数多くの情報を収集して取捨選択し、多角的な視点から高成長企業を厳選しています。金融市場が混乱する中でも、僅かな変化も見逃すことなく、今後も引き続き、高成長割安 50 社パッケージの品質を日々高めるべく、力を注いでまいります。

エンジェルジャパン・アセットマネジメント 宇佐美 博高

- ※ 本資料では、個別銘柄に言及していますが、これは当該銘柄の組入を約束するものでも売買を推奨するものでもありません。
- ※ 上記「50 社パッケージ」とは、50 社程度という意味で使用しており、投資銘柄数を 50 社に限定するものではありません。

お申込みに際しての留意事項

<リスク情報>

- 当ファンド(マザーファンドを含みます。)は、主に株式など値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する中小型株式や新興企業の株式は、株式市場全体の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、元金を割り込むことがあります。
- 当ファンドの主なリスクは以下の通りです。
 - 【価格変動リスク】**
一般に株式の価格は、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
 - 【流動性リスク】**
市場規模や取引量が少ない場合、組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。
 - 【信用リスク】**
一般に投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。
 - 【未上場株式などの組入リスク】**
 - <低流動性資産のリスク>
未上場会社の発行する株式など流動性の低い証券については、保有証券を直ちに売却できないことも考えられます。また、このような証券の転売についても契約上制限されていることがあり、基準価額に影響を与えることもあります。
 - <財務リスク>
未上場会社の発行する株式などは、会社の沿革、規模などの観点から、社会、政治、経済の情勢変化に大きな影響を受け易く、予想に反し、会社の業績、資金調達などにおいて懸念が生じる場合があります。このような懸念が生じた場合、基準価額に影響を受けることも考えられます。

<その他の留意事項>

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「日興グローイング・ベンチャーファンド」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めさせていただくために作成した販売用資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、販売会社より、投資信託説明書(交付目論見書)などをあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず詳細をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込メモ

商品分類	: 追加型株式投資信託／国内株式型(中小型株型)／自動けいぞく投資適用
お申込単位	: お申込単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
お申込価額	: お申込受付日の基準価額
信託期間	: 平成25年7月17日まで(平成15年7月18日設定)
決算日	: 毎年7月17日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	: 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。
ご換金価額	: 換金請求受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
ご換金代金のお支払い	: 原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
課税関係	: 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞

お申込手数料	: お申込手数料率は、3.15%(税抜3%)を上限として販売会社が定める率とします。 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。
--------	--

換金手数料	: ありません。
信託財産留保額	: 換金時の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額(1口当たり)

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

信託報酬	: 純資産総額に対して年率1.995%(税抜1.9%)を乗じて得た額
その他費用	: 組入る有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など
※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。	
※当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様ที่ファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。	

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	: 日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会
投資顧問会社	: エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社
受託会社	: 日興シティ信託銀行株式会社
販売会社	: 販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] http://www.nikkoam.com/ [コールセンター] 0120-25-1404 (午前9時～午後5時、半休日となる場合は午前9時～正午。土、日、祝・休日は除く。)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会		
		日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
かざか証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第58号	○		○
日興コーディアル証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第129号	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)

4/4

■当資料は、日興アセットマネジメントが「日興グローイング・ベンチャーファンド」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。